



CSだより

令和7年7月24日
学校運営協議会発行
中能登中学校
第9号

どうなってる？

中能登中学校の部活動地域展開



現在、全国の多くの中学校では、部活動のあり方が見直されており、学校だけでなく、地域と一緒に活動を支える取り組みが広がりつつあります。中能登町も例外ではなく、休日の部活動を実施せず、地域クラブとして活動し、地域の皆さんと協力して、子どもたちの成長を支えています。

本号では、中能登中学校の部活動が地域クラブとどのように連携しているかについて、2つの活動をご紹介します♪

ディアーズ

女子は、全能登ベスト4、
県大会出場を目指して、
練習に励んでいます。

男子は、多くの方から応援されるチームを
目指して、全能登優勝、北信越出場を目標に
練習を頑張っています。

バスケットボール部の生徒は、男女とも、地域クラブ「ディアーズ中能登クラブ」に参加し、休日に活動しています。男子は森村顕盛さん、佐賀野良二さんに指導をしていただき、女子は平井衛さん、高木雅哉さんに指導をしていただいております。皆さんは、中能登町バスケットボール協会から推薦された指導者です。

剣道部の生徒は、地域クラブ「中能登武道館」に参加し、休日に活動しています。指導者は、中能登町剣道協会から推薦された横井隆明さん、近江希文さん、そして、中能登中学校から推薦された剣道部顧問の中西優登先生にも地域の指導者として、**兼職兼業**していただいております。



兼職兼業とは？

学校の先生が、地域のスポーツ・文化クラブなどの外部団体で指導を行うことを、**[兼職・兼業]**として認める仕組みのこと💡

中能登町では、部活動地域展開を進めていくにあたり、指導に対して熱意がある専門性のある先生方には、地域の指導者として子どもたちと関わって頂く方針としています。部活動地域展開は、メリットがある一方で、まだまだ課題も多いのが現状です。

<教員が感じるメリット>

- 教員の異動に関わらず、地域展開の目的である「持続可能な体制」を整備でき、子どもたちと地域の繋がりがより強くなる！
- 地域の指導者は、生徒を幼少期から見ているので、指導が通りやすい。

<教員が感じるデメリット>

- 指導者同士の情報(生徒への指導内容や行事予定)の共有が難しい。
- 部活動本来の教育的意義を残していけるのか、不安な部分もある。

活動している子どもたちにとって、できるだけ混乱が少なく、スムーズに移行できる体制を整備するため、また、関わる方々にとってどのような未来を描くのがベストなのか、関係各所と連携しながら、今後も協議を進めていきます！